

第 39 回バイオレオロジー・リサーチフォーラムの御案内

第 39 回バイオレオロジー・リサーチフォーラムを下記の通り開催致します。

今回のテーマは「嚥下障害による事故を予防するために」です。高齢化が進むわが国では、高齢者の嚥下障害が社会的問題になっています。そして、2018 年には 3 万 8 千人以上の人が誤嚥性肺炎で死亡しています。また、脳卒中などの後遺症で嚥下障害がある人も多く、医療機関や介護施設などでは誤嚥による窒息事故を予防することが大きな課題となっています。嚥下障害患者の管理や誤嚥を予防するために食品のレオロジーを中心とした様々な研究が推進され、バイオレオロジー学会でも知見が紹介されています。

今回は、医学・工学・社会医学の側面から嚥下障害の発生メカニズム、嚥下事故の実態とその予防対策などについてご紹介致します。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

主 催: 日本バイオレオロジー学会

日 時: 2020年3月3日 (火) 15:00~16:55

場 所: 関西大学東京センター会議室 (東京都千代田区丸の内1-7-12サピアタワー9F)

<http://www.kansai-u.ac.jp/tokyo/map.html>

※なおサピアタワーご入館に際しては、3 階のオフィスロビー総合受付にて身分証明書(免許証など)をご提示いただき入館手続きをお済ませの上、9階にお上がり下さい。

テーマ: 「嚥下障害による事故を予防するために」

司 会: 一杉正仁 (滋賀医科大学)

講 演:

1. 15:00~15:45

「嚥下障害の病態と発生機序について」

武原 格 (東京都リハビリテーション病院リハビリテーション科)

2. 15:50~16:05

「誤嚥の検知に向けた工学的アプローチ」

石井 綾 (東京都市大学大学院総合理工学研究科)

3. 16:10~16:55

「誤嚥事故の裁判例からみた予防対策」

馬場美年子 (慶応義塾大学医学部総合医科学研究センター)

参加費: 無料 (事前参加登録は必要ありません。)

学会員で無い方の参加も歓迎します。

問い合わせ先: 日本バイオレオロジー学会事務局

東海大学医学部内科学系循環器内科学

office@biorheology.jp